部局名	生涯学習部	所属名	男女共同参画課	所属長名	澤田利恵子	電話	485-7088

1. 事務事業の位置付け・概要(PLAN)

コード	400	65	事務事業名称	男女共[男女共同参画推進事業 短縮コード 経常									経常	4065	臨時	4066
予算区分	会計	01	一般会計		款	10	教育費		項	05	社会教育費	目	13	男女共	同参画費		
区分	区 分 日治事務		務 □ 法定受託事務			やちよ男女共生プラン懇話会設置要領 八千代市男女共同参画推進会議設置要綱 根拠法令等							綱				
_ ~																	

事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

平成6年度に憲法の保障する「個人の尊厳」と「両性の平等」を基本理念として、女性問題を解決し男女共同参画社会の実現を目指すため、「第1次やちよ男女共生プ ラン」を策定し、平成7年度にはこの基本計画を踏まえて「同プラン実施計画」を策定した。平成8年度からは同実施計画に基づき、全庁的に具体的な取り組みを実施 し施策の推進を図った。また平成12年度には、「第1次やちよ男女共生プラン」による施策推進を見直し、男女共同参画社会基本法を理念とし、家庭や地域、働く場 などの変化に対応するため、現行の「第2次やちよ男女共生プラン」(平成13~22年度)を策定した。平成18年4月からは「同プラン第2期実施計画」に基づき 、男女平等の意識づくりを始めとする5つの主要課題解決のため、家庭や地域、働く場など、あらゆる場に男女がともに参画し、一人ひとりが能力を発揮できる男女共 同参画社会の実現を目指して、全庁的に、また市民とともに事業を推進している。

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測

事業実施当初に比べて、女性の社会進出が進むとともに雇用均等待遇も 整備されている。また、家庭・地域・学校・職場などにおいても男女共 同参画は少しずつ進んでいる。さらにDV対策をはじめとする人権尊重 への取り組みや子育て支援、高齢者等への取り組みが行われているが、 これらに対しては男女共同参画の推進が求められているところである。

	5本の柱(章)	02	人間尊重都市をめざして
総合	大項目 (節)	04	男女共同参画社会
	中項目	01	男女共同参画社会
合 計 画	中 垻 口		
の	小項目(施策)	02	男女共同参画社会の促進
施策体系	介· 複白(肥果)		
14 系	細項目	01	男女が平等に豊かに暮らすことができる環境の整備
	州 久 口		
	実施計画の		
	計画事業		
जर 🕂	11年4日 亚日	200年 9	日 計画 東 弗

計画事業の位置付けの有無

計画事業期間

平成11年4月 ~ 平成23年3月

| 計画事業費

千円

2. 事務事業の目的・指標・実績(DO)

対象 (誰を何を対象にし ているのか)	男女共同参画推進会議・幹事会の構成員、やちよ男女共生プラン懇話会委員八千代市女性団体連絡協議会会員
手段 (具体的な事務事業 のやり方、手順、詳 細)	※平成20年度に実際に行ったこと: 第2次やちよ男女共生プラン第2期実施計画に基づく事業の実施。平成19年度業務の進捗状況調査を実施し、結果を男女共同参画推進会議幹事会及び推進会議の委員に文書で報告し、意見を伺った。やちよ男女共生プラン懇話会を開催し進捗状況を報告し、意見を頂いた。市内事業所に対して男女共同参画社会形成に向けての事業所調査を実施。女性団体への支援。市民参画の男女平等の意識づくりの推進。 ※平成21年度に計画していること: 第2次やちよ男女共生プラン第2期実施計画に基づく事業の実施。平成20年度業務の進捗状況調査の実施。八千代市男女共同参画推進会議・幹事会の開催。やちよ男女共生プラン懇話会の開催。男女共同参画社会形成に向けての市民意識調査の実施。第3次やちよ男女共生プラン策定に向けての調査研究。女性団体への支援。市民参画の男女平等の意識づくりの推進。ホームページによる情報提供の充実。
意図 (何を狙っているの か)	男女共同参画社会に関する施策の共通認識と意識の啓発に努める 男女共同参画社会づくりの必要性や男女平等意識づくりの推進
結果 (どんな結果に結び つけるのか)	入力対象外

区分			出上	19年度	2 0	2 1 年度	
			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	男女共同参画推進会議・幹事会委員の数。懇話会委員の数	人	31	31	31	31
対象指標	指標 2	八千代市女性団体連絡協議会会員の数	人	190	200	168	168
	指標3	成人男女市民の数	人	151, 463	150, 867	153, 708	152, 222
	指標 1	推進会議・幹事会・懇話会の開催回数	回	0	3	1	3
活動指標	指標 2	女性団体のリーダー研修会及び交流会などへの参加者数	人	486	350	343	338
	指標3	各種調査の実施	回	2	2	2	2
	指標 1	性別分業意識にとらわれなくなった人	%	43. 2	50	43. 2	50
成果指標	指標 2	審議会等における女性委員の登用率	%	28. 8	30	30. 6	33
	指標3	実施計画に基づいて実施された事業の割合	%	97. 9	100	96. 4	100
	指標 1						
上位成果指標	指標 2						
	指標3						

⊐ -	- F 4065	事務事業	美名称	男女共同参画推進事業		所属名 男女共同参	画課
Ì			単位	1 9 年度	2 0)年度	2 1 年度
			平位	実績	計画	実績	計画
		国	千円				
		県	千円				
	財源内訳	地方債	千円				
+		一般財源	千円	437	411	351	391
事業		その他	千円				
費 (A)	費			報償費72千円 旅費6千円 需用費54千円 役務費62千円 委託料70千円 使用料及び賃借料72千円 負担金補助及び交付金101千円	報償費61千円 旅費20千円 需用費82千円 役務費74千円 委託料89千円 使用料及び賃借料85千円	報償費55千円 旅費17千円 需用費76千円 役務費56千円 委託料63千円 使用料及び賃借料84千円	報償費61千円 旅費15千円 需用費77千円 役務費74千円 委託料79千円 使用料及び賃借料85千円
人件	費 (B)		千円	27, 381. 3	26, 114. 4	26, 593. 9	26, 593. 9
١ -	- タルコスト	(A) + (B)	千円	27, 818. 3	26, 525. 4	26, 944. 9	26, 984. 9

3. 事務事業の評価(SEE)

①事業目的が上位の施策に結びついているか? 結び付くが見直しの余地がある	530%に対して30.6%となり、目標は達成さ 同けてさらに働きかける必要がある。 は96.4%のため、事業の実施の推進に努めたい な発事業や意識調査などを通じてさらに男女平等意
	男女が平等に豊かに暮らすことができる環境の整 社会の促進」に結びついている。 「30%に対して30.6%となり、目標は達成さ 同けてさらに働きかける必要がある。 は96.4%のため、事業の実施の推進に努めたい 終発事業や意識調査などを通じてさらに男女平等意
①事業目的が上位の施策に結びついているか? □ 結びつきが弱い・ない □ 評価対象外事項 □ 達成している か? ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。 □ 評価対象外事項 □ 対象のでは、	530%に対して30.6%となり、目標は達成さ 同けてさらに働きかける必要がある。 は96.4%のため、事業の実施の推進に努めたい な発事業や意識調査などを通じてさらに男女平等意
□ 結びつきが弱い・ない □ 評価対象外事項 □ 達成している か? ※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。 □ 評価対象外事項 □ 対象外事項 □ 対象が事項 □ 対象が事項 □ 対象が事項 □ 対象が主体的に取り組む事業であり行政施策 ※民営化・・・事務事業の全部又は一	可けてさらに働きかける必要がある。 は96.4%のため、事業の実施の推進に努めたい 啓発事業や意識調査などを通じてさらに男女平等意
□ 達成している □ 達成している □ 達成している □ 達成していない □ 達成していない □ 達成していない □ 達成していない □ がき成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。 □ 評価対象外事項 □ でに所期目的を達成できるか? □ 評価対象外事項 □ でに所期目的を達成できるか? □ 可能性はある □ でに所期目的を達成できるか? □ 可能性はある □ でに所期目的を達成できるか? □ 可能性はある □ でに所期目的を達成できるか? □ 可能性はある □ でに所期目的を達成できるか? □ でに所期目的を達成できるか。 □ では、がさらに高い目標を設定し関係各課に向実施計画に基づいて実施された事業の割合は、	可けてさらに働きかける必要がある。 は96.4%のため、事業の実施の推進に努めたい 啓発事業や意識調査などを通じてさらに男女平等意
②すでに所期目的を達成しているか? ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。 □ 部価対象外事項 ②民営化で目的を達成できるか? ※民営化・・・事務事業の全部又は一 □ 建成している	可けてさらに働きかける必要がある。 は96.4%のため、事業の実施の推進に努めたい 啓発事業や意識調査などを通じてさらに男女平等意
②すでに所期目的を達成しているか? ※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。 □ 評価対象外事項 ③民営化で目的を達成できるか? ※民営化・・・事務事業の全部又は一	客発事業や意識調査などを通じてさらに男女平等意
 的 妥 当 性 ③民営化で目的を達成できるか? ※民営化・・・事務事業の全部又は一 (ご進んでください。 □ 評価対象外事項	受であるため、民営化はなじまない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
性 ③民営化で目的を達成できるか? □ 可能性はある ※民営化・・・事務事業の全部又は一	きであるため、民営化はなじまない。
部の実施主体を全面的に民間事業者等	
(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異なる。) 評価対象外事項	
□ 現状のままでよい 現状の「対象」・「意図」で結果に結びつい	っている。
④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	
□ 評価対象外事項	
☑ 有効性向上の可能性がある	
⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか? □ 対率性向上の可能性がある □ 対応性がある場合は、⑤-2, □ 対応性がある □ 対応性	
3 を記入する。	
入する。 □ 可能性がない	
有	○連携を図るとともに、各種調査、男女共生プラン 至研究や男女共同参画に関する情報誌の発行により
世る手段は何か? □ 臨時的任用職員等の活用 □ 該当する手段を選択し、 □ はいる はいました □ は	
対 具体的な方法と得られる効 果を記入する。手段が「類似 □ I T化等の業務プロセスの見直し 事業との統合・役割見直し」 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
性 事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類	
□ 類似事業との統合・役割見直し 類似 1 事務	実施主体 (所管部署)
☑ 上記以外の方法 事業 名称 2	実施主体 (所管部署)
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか?(一時的な経費増・市	
民の理解等)	

⊐ -	- ド 40	065	事務事業名称	男女	女共同参画推進事業 所属名 男女共同参画課							男女共同参画課
今後の方向性				② 改革・改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 ② 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 □ 廃止(事業完了含む) □ 休止 □ 現状のまま継続				ン懇	恳話会・推進	進会議からの意見収集によ	る調査研究	を図るとともに,各種調査,男女共生プラ 党や男女共同参画に関する情報誌の発行に ン」策定に向け推進を図る。
1生						経						ンターとの同一配置及び生涯学習推進員の れ、成果の向上が見込まれる。
						削減	不	変	増 加	相乗になり、事物の 加工	- L	o, Maryina yuzaaa oo o
	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理		成	向 上		2]					
	由を記載する	5 。		果	不 変]				
			213	低下								
	この事務事業に対する市民や議会の意見(担当者が把握している意見) ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など											

平成15年3月定例会において、八千代市として男女共同参画を推進するための条例を制定する考えはないのか、また男女共同参画を市長部局に設置する考えはないのか、と質問があった。また平成15年6月定例会において、審議会等における女性委員の割合と数値目標、管理職における女性職員の割合の質問があった。さらに平成16年9月の定例会に、男女共同参画の施策を推進する部署が市長部局に位置付けられて庁内体制が整備されたことは評価する、さらに条例制定に当たり市民意識調査を行ってはどうか、その結果を踏まえて市民参画で条例制定することについての考えなどの質問があった。平成15年3月定例会において、ワーク・ライフ・バランスの啓発推進について質問があった。18年度の男女共生プラン懇話会においては、市民と協働で推進する目的の男女共同参画社会づくり啓発事業の報告を聞いた委員から、市民の発案・実施で行うことは素晴らしいので、さらにこのような取り組みが広がる事を願うと意見があった。20年度の男女共生プラン懇話会においては、男性の家事・育児の共同参画の推進について意見があった。

所属長コメント	の社会進出における条件整備や子 づき事業所管課により課題解決を	びき、家庭・地域・働く場等のあらゆる分野における男女共同参画の推進を目指し、事業に取り組んでいるところだが、現状では女性ですて支援を始め近年ではワーク・ライフ・バランスの推進等幾つもの対応が求められている。これに対して男女共同参画プランに基立目指して取り組まれており、20年度は96.4%の事業が実施された。また、審議会等における女性委員の登用状況は、目標値3とおり目標が達成されたことは評価できる。21年度においては男女共同参画社会形成に向けた市民の意識調査を実施し現状を把握した。
	☑ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり、課題解決に努め、可能なことは順次推進すべき。
評	☑ 手法プロセスの改革・改善	
価調	□ 事業規模の拡大・縮小	
整委	□ 統合・役割見直し □ その他	
員会	□ 廃止(事業完了含む)	
会		
評価	□ 休止	
	□ 現状のまま継続	